



株式会社マネジメントセンター
〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 68-1 NEW108-202
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672

URL:<http://www.isommc.com/>

mail:info@isommc.com



編集責任者
松本幸雄

先日、人間ドッグを受診しました。首から上以外は特に問題もなく、良好な結果に安心しました。定期チェックの大切さを実感した次第です。

利益率15倍その秘訣とは

キャノンの関連会社、キャノン電子は営業利益率1%の実質赤字会社でした。そこに、新任の酒巻社長が就任し、またたくまに営業利益率15%の高収益企業に変身しました。その秘訣は、中小企業でも応用できる簡単ことばかりでした。その内容とは・・・

(1) 自発的なやる気を作る

酒巻社長が最初に行ったのは、如何に社員にやる気を起こさせるかでした。そのために、「誰のために働くかを明確にすること」だったのです。結局それは、社員一人一人のためであり、自分のためであることを気づかせました。

すると、自分のために一生懸命働き、仕事に興味と意欲が湧いてきたのです。それが、自発的なやる気を作り仕事の無駄を省く原動力になったのでした。確かにいつも社員の働きを社長や管理職が監視できるわけではありませんから、如何に仕事に対して前向きにするかは基本中の基本と言えるでしょう。

(2) ルールの明確化と厳守

次に酒巻社長が行ったのは、明確なルールを作り実行させたことでした。この場合に単にルールをつくるのではなく、目的を明確にして作るところがポイントでした。

例として、駐車場では植栽を排ガスで傷めないように前向き駐車としました。三回守れない場合は解雇するというルールを作りました。そして、実際に三回破った社員を解雇したのです。これには、社員が驚いたのは当然です。

しかし、これでルールを守るのが当たり前という風潮が一気に広がりました。このような対応をした理由は、ささいな事も守れない社員が作った製品は、不良品ばかりになるとの当然の理由でした。

3) 数字でなく人間をみる

酒巻社長が就任して一年は、決算書の数字は見なかったのです。理由は、数字は単なる結果であり、その

原因は全て人間だという考えからでした。そこで、悪い会社はいい人が上に上がれないから悪い会社なので、一年かけて下にいるいい人を発掘することに精力を費やしました。

人を発掘し教育することで、自ずと数字(決算書)は良くなるとの信念で、実際その通りやり遂げました。経営資源には、人・物・金・情報などと言われますが、人が一番大事ということは、多くの会社を訪問している私も確かに実感しています。

高収益会社の基本は

1. 自分のために働くことを理解させる
2. ルールを作り守ることが仕事の基本
3. 人の働きが会社の数字を決める
4. 全てを半分にして、無駄を排除

(4) 二つだけを言う

次に酒巻社長が行ったのは、社員に二つの事を言いました。それは、「トップレベルの企業を目指す」と、「そのために全てを半分にする」の二点でした。トップレベルの企業というのは、利益率15%以上の会社のことです。そのために、今までの半分で仕事をやってもらうことを要求しました。

具体的には、製造現場で100平方メートルのスペースを半分の50平方メートルでやることや、10人の仕事を5人でやることでした。会社には多くの無駄が存在しており、それをなくす画期的な方法でした。酒巻社長が実際にやってみせて、それらを全て達成できたのです。やはり、現在の仕事には多くの無駄があることが証明されました。

この続きは次号で。。

中小企業の ISO成功事例

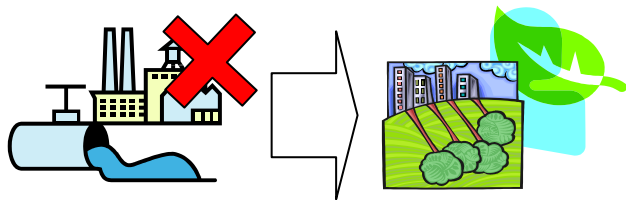
「品質と環境の仕組みを両立させる」

《中小企業が“今”求められていること》

昨今の新聞紙上やテレビ・ラジオで話題になる事と言えば、最近増えた企業の失態と共に『環境』に関する内容です。特に1997年に採択された【京都議定書】による削減の開始を来年(2008年)に控え、『環境』に関する社会的な関心は高まるばかりです。

【京都議定書】の削減目標
2008年から2012年の間に、-6%(1990年基準)の温室効果ガス削減が日本に課せられています。

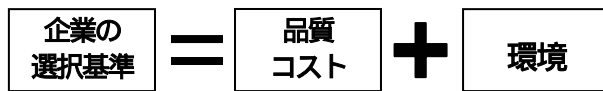
既に産業界での削減計画が検討され、その影響は大手企業から中小企業にも及んでいます。それは取引上でも大きな障害となっています。



《中小企業の環境への取り組み》

既にISOを取得している企業でも、その内容は多岐に渡ります。品質を管理する“ISO9001”、環境を管理する“ISO14001”、企業の情報を管理する“ISO27001”などが主流です。

その中でも、急増しているのが【ISO9001と14001の統合】です。取引先との契約条件に、ISO14001の取得が義務付けられている大手企業や、取引の継続には環境活動の詳細を報告させる企業が増えているのが実情です。



上記対策として、ISO9001を取得している企業でしたら、環境のISO14001もその仕組みに組み入れて運用することや、新規に取得する場合でも初めから『ISO9001+14001』の仕組みとしています。

《環境への配慮が成長の鍵》

ある商社の例では、ISO14001の取得をきっかけに、環境への活動を事業の中で積極的に行い、グリーン購入対応商品の売上増を「環境目的・目標」に設定し、事業の拡大を行っています。

また、既にISO9001を取得している製造業では、新たに14001を取得し、一つのマネジメントシステムで運用しています。その為、品質と環境両方での信頼を勝ち取り、工場の移転や増設を行うまでになっています。

知って得する! パソコンマメ知識

このコーナーでは、今や仕事には無くてはならないパソコンを、上手に活用するための情報をご提供します。

【第5回 ハードディスクの空き容量を増やそう!】

日頃からパソコンを使って仕事をしていると、いつの間にかHDD(ハードディスクドライブ)がいっぱいになっていて、データの保存ができなかったり、パソコンの動きが遅くなったりすることがあります。そんな時には、ディスクをきれいに掃除して、空き容量を増やしましょう!

手順1

[スタート]-[マイコンピュータ]の順にクリックし、[ローカルディスク(c:)]を右クリックして、[プロパティ]を開きます。

右図の様な画面が表示されるので、[ディスクのクリーンアップ]ボタンをクリックします。



手順2

下図の様な画面が表示されるので、そのまましばらく待ちます。



手順3

下図の様な画面が表示されたら、「削除するファイル」のリストから削除する項目にチェックを入れて、[OK]ボタンを押せば、クリーンアップ完了
最大で、図の右上にある数値分、空き容量を増やすことができます。

右の図では、約2GB増やせます。



《株マネジメントセンターの業務内容》

ISO9001(品質マネジメントシステム)、ISO14001(環境マネジメントシステム)
ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)、ISO22000(食品安全マネジメントシステム)
プライバシーマーク(個人情報保護マネジメントシステム)、社員教育研修(幹部社員教育)
「人事・賃金制度」、「経営戦略・事業計画」 その他中小企業経営に関する支援全般

配布がご不要の方は、失礼いたしました。下記にご一報頂ければ配布の停止をさせていただきます。

TEL029-246-4671 FAX029-246-4672 mail:info@isommc.com